

- 世界経済の拡大に伴い、海上荷動量と新造船市場は中長期的に拡大。
- 近年、高品質・高性能な日本船への回帰が見られ、受注量・シェアは増加傾向。
- 人手を要する造船において、革新的な生産技術の導入による生産性向上によって、更なる国際競争力の強化を図る。

世界の造船市場の拡大

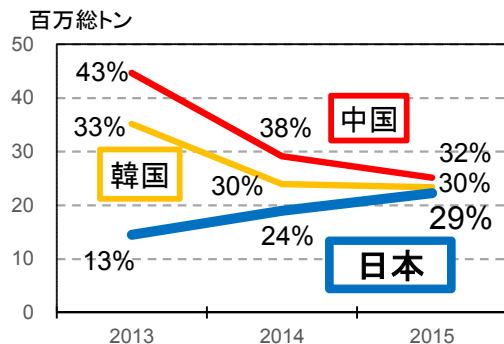
海上荷動量は増加を続けており、世界の造船市場は中長期的に拡大



更に成長可能

受注量・シェアの増加

- 日本受注シェア拡大(2015年29%)



造船における生産工程

現状では、人の手に委ねられる工程が多数存在



生産性向上が成長の重要課題

革新的な生産技術やシステムの導入を促進

例1: AI自動溶接ロボット導入

3次元設計情報を基に、複雑な部材形状であっても、手順を判断しながら作業を行う自動溶接により、生産性を向上。



例2: 見える化システムの導入

IoTにより、1隻10万点以上の部材と、数百から数千人の作業を一元把握し、無駄や無理を徹底的に排除。



我が国の造船の成長、国際競争力の強化